

## かわさき区の宝物シート

宝物No.	かわさき・いさごのさとしりょうかん <b>川崎・砂子の里資料館</b>
1-9	

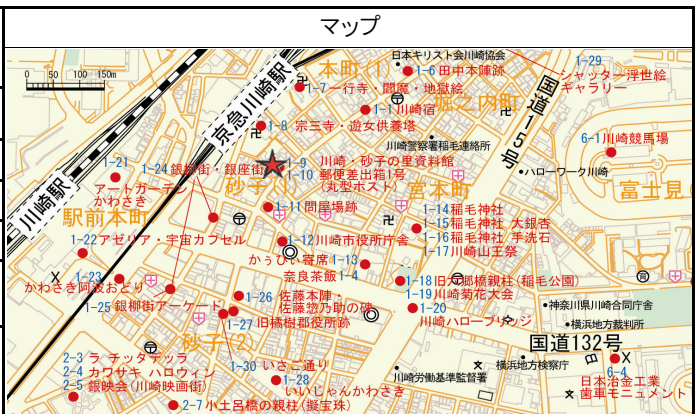
エリア	中央地区	シーズン	通年
	川崎駅前北	日時	

目的	<input checked="" type="checkbox"/> 観る <input type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する <input type="checkbox"/> 食べる <input type="checkbox"/> その他
宝物定義	<input type="checkbox"/> ものづくり <input type="checkbox"/> イベント・祭り <input type="checkbox"/> 味づくり <input type="checkbox"/> にぎわい <input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの <input type="checkbox"/> 港めぐり <input checked="" type="checkbox"/> 歴史的なもの <input type="checkbox"/> 人物



写真提供：砂子の里資料館

所在地	川崎区砂子1-4-10
問い合わせ	川崎・砂子の里資料館
TEL	044-222-0310
FAX	044-222-6155
E-mail	
URL	<a href="http://www.saito-fumio.gr.jp/">http://www.saito-fumio.gr.jp/</a>
交通	京急川崎駅より徒歩5分（旧東海道）



### 基礎情報

- かつて東海道川崎宿の中心としてにぎわった地に平成13年(2001)11月、海鼠壁の江戸町屋風の資料館がオープンした。
- 主に東海道をテーマとする浮世絵を中心とした企画展が毎月開催され、世界に誇る江戸浮世絵文化にふれることができる。カラー刷りの出品作品レポートも毎回無料で配布される。また300年前の川崎宿の模型も展示されている。

### 由来・エピソード

- 平成13年(2001)5月、宿駅制定四百年を記念した「大川崎宿祭り」が開催された。この時実行委員長を務めた現館長の斎藤文夫氏が、自宅の一部を改装し、かつての「問屋場」に見立てた実行委員会事務所として提供したのがはじまり。より多くの人に川崎の文化を知ってもらいたいという想いから、半年後に「砂子の里資料館」と名付け開館した。
- 展示物の中心となっているのは、先代から収集しているという浮世絵であるが、今後は文物などの展示も増やしていく予定という。
- 川崎宿の模型は、元禄3年(1690)の菱川師宣画「東海道分間圖繪」をもとに、町おこしの一環として川崎区役所が制作したものが砂子の里資料館に寄託されたものである。

### 補足・その他

- 開館時間10:00～17:00、入場無料。
- 日曜・祝日休館。月始・月末も展示替えのため休館、8月は夏季休館。

### 関連シート

- (1-1)川崎宿
- (1-10)郵便差出箱1号(丸型ポスト)
- (1-11)問屋場跡